

環境経営レポート



令和 5 年度
(令和5年4月～令和6年3月)



作成日 令和6年6月15日

環境経営方針

＜基本理念＞

当社は、環境問題が経営上の重要な課題であることを認識し、健全な循環型社会を実現するため、すべての企業活動を通じて「顧客第一」「地域への貢献」をモットーに、社員一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

＜基本方針＞

1. 事業活動に伴う環境に対する影響を常に意識し、自主的、積極的に環境への取り組みを 継続的に改善及び維持に努めます。
2. 適用される環境関連法規及び、その他の要求事項を遵守します。
3. 産業廃棄物の中間処理において再生利用の促進と適正処理に努めます。
4. 事業活動全般に伴う環境への負荷を低減するため、以下の活動を積極的に推進します。
 - ①省エネルギー（電気、燃料）を通じて、二酸化炭素排出量の削減
 - ②省資源（水道水等）
 - ③廃棄物のリサイクル化の向上
 - ④環境に配慮した土木・建築工事の設計・施工及び土木・建築材料の販売
 - ⑤事業所内外の環境美化。
5. 使用物品・事務用品等のグリーン購入に努めます。
6. 環境保全に関する啓蒙・啓発と、地域での社会貢献活動に努めます。

この方針は、社員全員に周知すると共に、社外にも公表・開示し、環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。

平成18年 1月10日制定
平成30年 5月25日改定

株 式 会 社 丸 六

代表取締役 神藤 信六

1.組織の概要

商 号：株式会社丸六

代表者：代表取締役 神藤 信六

設 立：昭和63年11月 1日(創設 昭和49年 6月 4日)

資本金：30,000千円

事業規模：

活動規模	単位	令和 5年度
売上高	百万円	1,336
従業員	人	25
総敷地面積	m ²	5,855
工事件数	件	170

所在地：本 社・中間処理施設 〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野3640番地

TEL 072-467-2396 FAX 072-467-0863

<http://www.kabu-maruroku.co.jp>

中間処理施設 〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野2983-1

和歌山営業所 〒640-8241 和歌山県和歌山市雑賀屋町東ノ丁51

TEL:073-424-0806

2. 環境管理責任者及びエコアクション21事務局

エコアクション21事務局 神藤 加代子

環境管理責任者 池上 真也

事務局連絡先 TEL 072-467-2396 FAX 072-467-0863

3. 事業内容（認証・登録範囲）

土木・建築材料の販売
土木・建築工事の設計施工
産業廃棄物収集運搬及び中間処理
特別管理産業廃棄物収集運搬
一般貨物自動車運送業

許可の内容

1. 土木建築工事

建設業許可番号 大阪府知事許可(般-5)第79126号

建設工事の種類(1業種)

管

建設業許可番号 大阪府知事許可(特-5)第79126号

建設工事の種類(21業種)

土木、建築、大工、左官、とび・土工、石、屋根、タイル・れんが・ブロック、鋼構造物、鉄筋、舗装、しゅんせつ、板金、ガラス、塗装、防水、内装仕上、熱絶縁、建具、水道施設、解体

2. 産業廃棄物収集運搬業

府県	許可番号	許可の取得年月日	許可の有効期限	備 考(優良基準適合)
大阪府	第02710019548号	令和 3年 3月31日	令和10年 3月30日	平成23年5月25日
和歌山県	第03000019548号	令和 6年 1月13日	令和13年 1月12日	平成24年 4月24日
奈良県	第02900019548号	令和 2年 5月23日	令和 9年 5月22日	平成25年10月24日
京都府	第02601019548号	令和 2年 7月 8日	令和 9年 7月 7日	平成25年 9月 4日
兵庫県	第02801019548号	平成31年 2月 7日	令和 8年 2月 6日	平成31年 2月 7日

※ 大阪府は積替え保管含む

許可品目

●:積替保管を含む

府県	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	リアルカ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鉢さい	がれき類	廃乾電池	ばいじん	備 考
大阪府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	●	○	石綿含有産業廃棄物を含む
和歌山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	石綿含有産業廃棄物を含む
奈良県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○			石綿含有産業廃棄物を含む
京都府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○			石綿含有産業廃棄物を含む
兵庫県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○			石綿含有産業廃棄物を含む

3. 特別管理産業廃棄物収集運搬業

府県	許可番号	許可の取得年月日	許可の有効期限	備 考
大阪府	第02750019548号	令和 6年 4月17日	令和13年 4月16日	優良基準適合 平成29年4月20日

許可品目 10種類

府県	廃油	廃酸	リアルカ	産業廃棄物	等	廃PCB	汚泥	廃石綿等	ばいじん	燃え殻	備 考
大阪府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

4. 産業廃棄物処分業(中間処理)

府県	許可番号	許可の取得年月日	許可の有効期限	備 考
大阪府	第02720019548号	令和 3年 1月25日	令和10年 1月24日	

※ 優良産業廃棄物処理業者認定制度による優良確認: 大阪府:平成23年 5月25日

許可品目 8種類

府県	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	リアルカ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鉢さい	がれき類	ばいじん	備 考
大阪府						○	○	○	○		○	○	○		○		

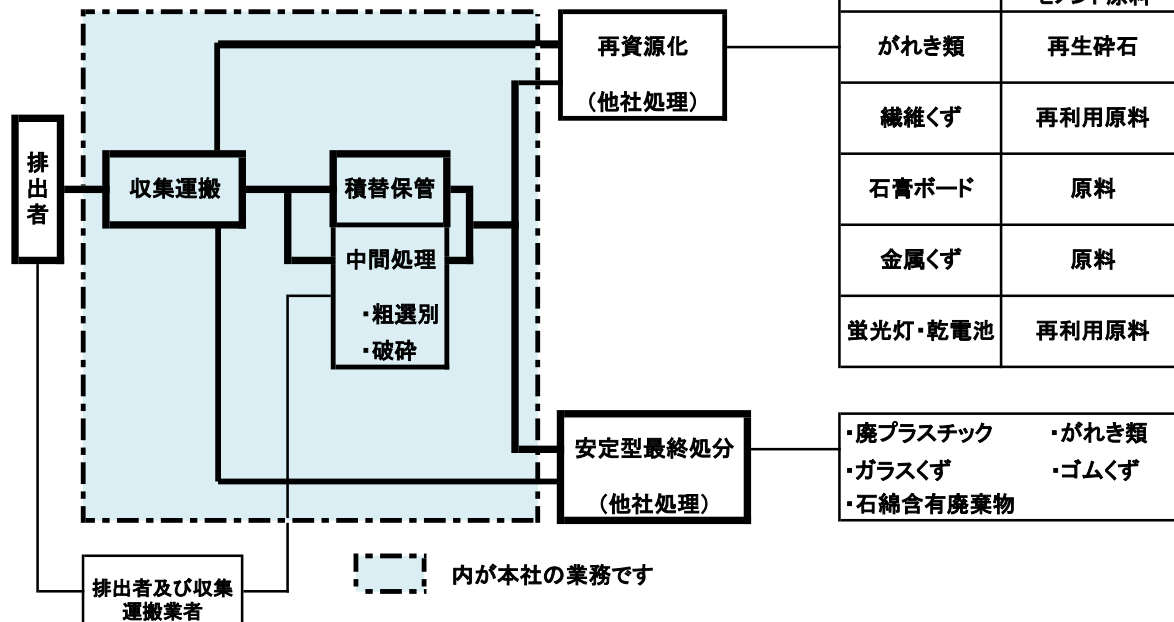
※ 金属、ガラスくずについては水銀使用製品産業廃棄物(廃蛍光灯)を含む。

5. 一般貨物自動車運送業

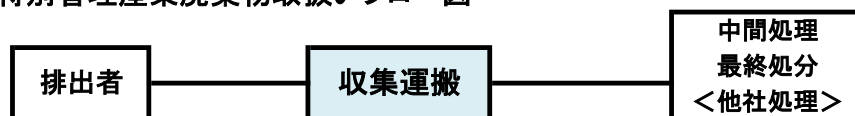
近畿運輸局 近運第504号

4. 産業廃棄物処理の概要

産業廃棄物取扱いフロー図



特別管理産業廃棄物取扱いフロー図



1. 積替保管施設

廃棄物の種類	面積	保管上限値	積上げ高さ	場所
金属くず ガラスくず※ がれき類 ※ ※は石綿含有産業廃棄物を含む	398.4 m ²	413.9 m ³	2.9m	泉佐野市日根野3649番1 他5筆
汚泥・金属くず (廃乾電池に限る)	20.5 m ²	15.6 m ³	3.0m	泉佐野市日根野2983番1 2984番1

2. 中間処理施設(破碎機)

廃棄物の種類	処理方法	処理能力	設置場所
廃プラスチック類 紙くず・木くず 繊維くず・ゴムくず ガラスくず	破 碎	10.56m ³ /日	泉佐野市日根野3649番1 他5筆
廃プラスチック類 金属くず・ガラスくず (蛍光管に限る)		4.3t/日	泉佐野市日根野2983番1 2984番1
金属くず		0.7t/日	
ガラスくず・がれき類		4.7t/日	

3. 産業廃棄物の処理実績

収集運搬量	3,835	t
自社発生産業廃棄物	815	t
他社持込産業廃棄物	4,337	t
中間処理量	5,152	t

4. 特別管理産業廃棄物の収集運搬実績

1,920kg

5. 車両・建設機械等の概要

・収集運搬及び一般貨物輸送車両（17台）

・ダンプトラック	10t車(2台) 4t車(1台) 3t車(5台) 軽ダンプ(1台)
・キャブオーバー	14t車(1台) 8t車(1台)
・脱着装置付きコンテナ車	4t車(3台)
・クレーン付きトラック	3. 3t吊4t車(1台)
・普通乗用車	1台

・営業用車両（1台）

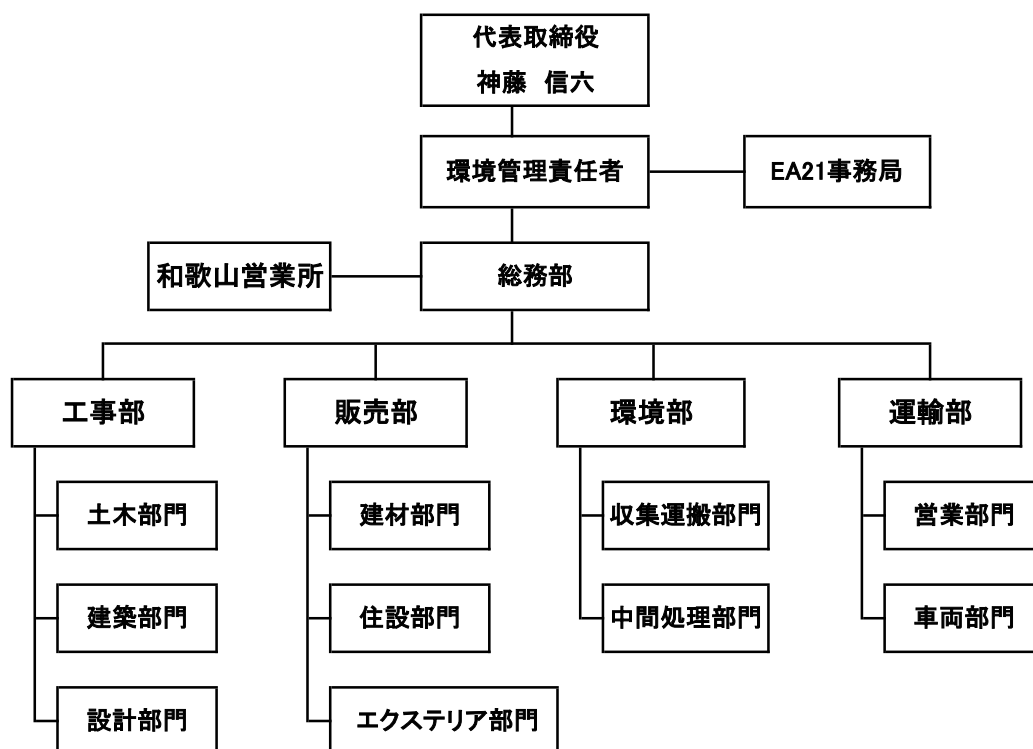
・普通乗用車	1台（環境対応車）
--------	-----------

・建設機械等（18台）

・油圧ショベル	0. 45m ³ 級(2台)・0. 28m ³ 級(4台)・0. 1m ³ 級(4台)
・タイヤショベル	1. 3m ³ 級(3台)
・フォークリフト	4. 3t級(1台)
・電動フォークリフト	1. 0～2. 5t級(4台)

5. エコアクション実施体制

令和5年4月1日



○ 役割と責任及び権限

役 割	責 任 及 び 権 限
代 表 者	・環境経営方針を定める ・EA21の評価と見直し ・各種資源の用意 ・環境管理責任者の任命
環境管理責任者	・EA21の構築、運用実施及び推進 ・全社目標を設定し、実施状況进行评估し代表者に報告する ・環境関係法令の遵守徹底
事 務 局	・環境管理責任者と共同で全社目標の実施状況を確認 ・事務管理 ・環境教育の実施
総務部管理者	・苦情処理の受付及び報告（総務部責任者） ・部門目標の設定 ・実施状況を確認
各部責任者	・部門目標の設定 ・実施状況を確認
全 社 員	・節電、節水、燃料削減及びリサイクルの実施
和歌山営業所	・苦情処理の受付及び報告（総務部責任者）

6. 環境経営目標と環境経営計画

環境経営目標(2006年1月作成・2021年5月改定)

● 二酸化炭素排出量の削減
1. 重機・収集運搬車両の省エネと排ガスの抑制
・燃料消費量を1ヵ年で1%削減
・燃料消費率(km/L)を1ヶ年で0.5%向上
2. 事業活動全体の電気使用量の削減
・電気使用量を1ヵ年で1%削減
● 水使用量の削減
・水使用量を1ヵ年で1%削減
● 廃棄物排出量の削減
・リサイクル率を1ヵ年で0.5%向上
・事務所から出る一般廃棄物の排出量を1ヵ年で0.5%削減
● 環境に配慮した土木・建築工事の設計・施工及び土木・建築材料の販売
・環境に配慮した施工(耐久、省エネ・資源物質等)に務める
・環境に配慮した建材(エコ商品類)の販売額を1ヵ年で1%向上
● グリーン購入の推進
・グリーン購入に努める。
● 所内外の環境美化
・年／4回以上の活動

この目標を達成するための環境経営計画は次のとおりです。

環境経営計画

環境経営目標	取組み内容	
二酸化炭素排出量の削減	燃料消費量の削減	車両・重機等の点検整備 アイドリングストップ 急加速・急発進急停止の禁止 車両の冷暖房の控え目使用 過積載の禁止
	電気使用量の削減	昼休みの消灯 クールビズ、ウォームビズ運動 冷房28℃ 暖房20℃設定 複合ガラス窓による断熱 破碎機等設備機器の点検整備 破碎機等設備機器の有効運転
水使用量の削減	水使用量の削減	節水の呼びかけ 雨水利用の防塵、植栽の水やり
廃棄物排出量の削減	産業廃棄物のリサイクル率の向上	目的・目標の説明 選別の徹底
	一般廃棄物のリサイクル率の向上	両面印刷、裏紙利用の促進 廃棄物の分別
環境に配慮した土木・建築工事の設計・施工及び土木建築材料の販売	耐久、省エネ・資源物質等エコ商品類の販売促進	
グリーン購入の促進	グリーン購入に努力する。	
事業所内外の環境美化とその取組み	年4回以上実施 絶滅種として危惧されているメダカ保護の取組み	

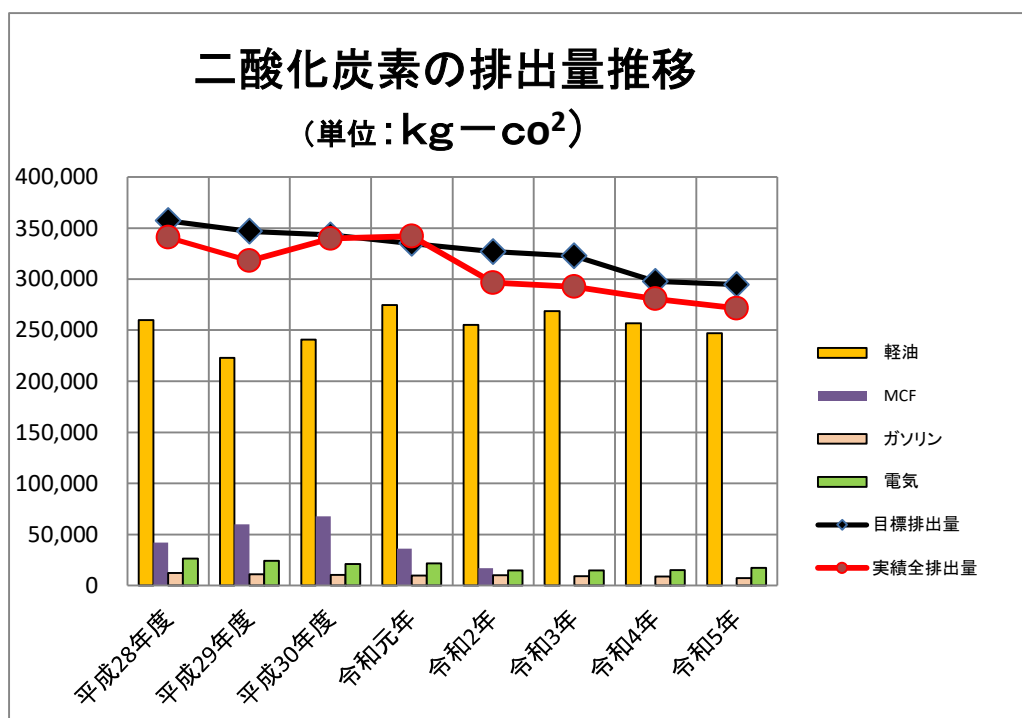
7. 環境経営目標の計画と実績

○ 目標を達成 × 未達成

目 標 項 目				基準値	2023年度			中期目標		
					目標値	実績	評価	24年度	25年度	26年度
二酸化炭素排出量の削減	燃料使用量	ガソリン	燃料使用量(L)	5,362	5,040	3,141	○	4,987	4,933	4,879
			CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	12,440	11,701	7,287		11,578	11,453	11,328
		軽油	燃料使用量(L)	104,465	103,420	95,800	○	102,376	101,331	100,286
			CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	269,520	266,824	247,164		264,130	261,434	258,738
		CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)の小計		281,960	278,525	254,451	○	275,708	272,887	270,065
	電気使用量	電気使用量(kWh)		49,469	46,501	40,455	○	46,006	45,511	45,017
		CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)		21,470	20,181	17,557		19,967	19,752	19,537
	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂) の計		303,429	298,706	272,009	○	295,675	292,639	289,603	
運搬車両の燃料消費率の向上(km/L)				3.60	3.62	3.53	×	3.64	3.65	3.67
水使用量の削減	水使用量の削減 上水使用量(m ³)			928	919	879	○	909	900	891
廃棄物排出量の削減	リサイクル率の向上(%)			72.7	76.0	73.9	×	76.3	76.7	77.1
	一般廃棄物の削減(kg)			1,424	1,274	1,280	×	1,267	1,260	1,253
環境に配慮した工事の設計施工・建設資材の販売額の向上(千円)				4,234	4,742	7,617	○	4,784	4,827	4,869
グリーン購入の促進(品目)				10	10≧	15	○	10≧	10≧	10≧
事務所内外の環境美化(回)				4	4	4	○	4	4	4

電気二酸化炭素排出係数 : 0.434kg-CO₂/kWh 関西電力2022年度調整後

基準値は、軽油使用量と燃費向上、水使用量で、一年前に改定しています。



8. 環境経営計画の取り組み結果とその評価

取 組 み 内 容		評価及び次年度の取組み		
燃料消費量の削減 燃料消費率の向上		車両・重機等の点検整備	○	往復便の有効利用等の効率的な運転に努力した結果消費量の削減(CO ² の削減)が図れた。車両の経年変化により燃費については目標を達成出来なかった。今後も継続した取組みを実施します。
		アイドリングストップ	○	
		急加速・急発進急停止の禁止	○	
		車両の冷暖房の控え目使用	○	
		過積載の禁止	○	
電気使用量の削減		昼休みの消灯	○	重点取組みをした結果、目標を達成できた。今後も重点取組みとします。
		クールビズ、ウォームビズ運動	○	
		冷房28℃ 暖房20℃設定	○	
		複合ガラス窓による断熱	○	
		破碎機等設備機器の点検整備	○	
水使用量の削減		節水の呼びかけ	○	今後も継続した取組みを実施します。
		雨水利用の防塵、植栽の水やり	○	
廃棄物 排出量 の削減	産業廃棄物	リサイクル率向上の目標説明	△	今後も継続した取組みを実施します。
		選別の徹底	△	
	一般廃棄物	両面印刷、裏紙利用の促進	△	工事の増により紙類の廃棄物が増え、目標を達成出来なかった。今後も継続して取組みを実施します。
		廃棄物の分別	○	
環境に配慮した土木・建築工事の設計・施工及び土木・建築材料の販売		耐久、省エネ・資源物質等エコ商品類の販売促進	○	今後も継続した取組みを実施します。
グリーン購入の促進		グリーン購入対象品目の検討	○	今後も計画的な購入を行います。
所内外の環境美化とその取組み		年4回以上実施 絶滅種として危惧されているメダカ保護の取組み	○	今後も継続した取組みを実施します。

△ 取組んだが結果として目標を未達成

9. 環境関連法規等の違反の有無

廃棄物処理法及び建設リサイクル法等の関連法規違反は無く、また関係機関等よりの違反、訴訟の指摘も過去5年間ありません。

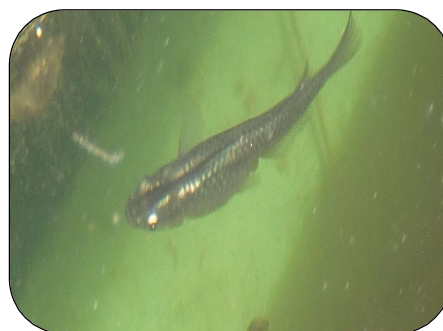
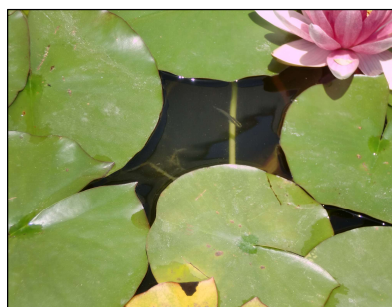
法規制等の名称	該当する要求事項	該当する設備・項目	違反の有無
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	・保管基準 ・処理基準 ・マニフェスト交付	・収集運搬車両及び積替 保管施設 ・中間処理施設	無
騒音規制法	・特定施設の届出	破碎機(4台)	無
振動規制法	・破碎機・篩機7.5kw以上の届出	篩 機(1台)	無
資源有効利用促進法	・廃パソコンの適正処分	廃パソコン等	無

法規制等の名称	該当する要求事項	該当する設備・項目	違反の有無
自動車リサイクル法	・廃棄時に再資源化となるように処理	トラック	無
家電リサイクル法	・廃棄時に再資源化となるように処理	テレビ・洗濯機・冷蔵庫 ・エアコン・衣服乾燥機	無
建設リサイクル法	・分別解体 ・契約時の説明	80㎡以上解体作業	無
自動車Nox.Pm法	・対策域内での自動車使用及び所有	トラック	無
道路交通法	・乗車又は積載の制限等 ・整備不良車両の運転禁止 ・安全運転	トラック・乗用車	無
オフロード法	・建設現場等道路外作業での基準適合車の使用(特定自主検査の実施)	建設機械等	無
フロン排出・抑制法	・業務用エアコンの簡易点検の実施	エアコン	無
大気汚染防止法 労働安全衛生法	・石綿含有建材の事前調査	建築物の解体等	無

10. 代表者による全体評価と見直しの指示結果

新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、徐々にですが活気が戻ってきています。
地球温暖化の主因である二酸化炭素の排出量削減をめざし、電気と燃料使用量の削減を重点項目として取り組み、目標を達成することが出来ました。
しかしながら、車両の燃料消費率(燃費)と産業廃棄物のリサイクル率については未達成であったので引き続き目標達成に努力をしていきます。

次年度の環境経営方針、環境経営目標及び実施体制を変更せず、環境法規等を遵守、社員教育の充実に取り組み、地域社会から信頼される環境にやさしい企業をめざします。



5月産卵期のメダカ

次回の環境経営レポートの発行は、令和7年6月ごろを予定しています。